

NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安美紀 【発行日】2016. 6. 25(通巻第13号)
【HP】<http://www12.plala.or.jp/asian-kids-care/> 【E-mail】kids@zpost.plala.or.jp 【団体設立】2004. 2. 11
【TEL】090-5912-4515 【FAX】089-985-0389 【郵便振替】口座番号:01600-5-13009 口座名義:アジア キッズ ケア
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:アジアキッズケア

熊本地震による大被害が発生し、被災地の皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。熊本の復興、被災した方々の生活の速やかな回復を願っています。3月に、当団体の12年間に渡るアジアやアフリカの貧困の子どもたちへの支援活動に対して、公益財団法人・関奉仕財団より、第10回教育文化奨励賞をいただきました。国内外のご協力くださった関係者の皆様に、心から御礼を申し上げます。今後も、引き続きよろしくお願ひします。

2016. 6. 25

NPO法人 アジア キッズ ケア 代表 喜安 美紀

13年目となる毎月実施の荷造りボランティア活動 ※支援物資の送付 869箱

この1年間、アジアやアフリカの子どもたちに支援物資(衣類、文具、楽器、日用品等)を次のように発送しました。

- | | | |
|---------------------|--------------------------|------------------------|
| ・2015. 7 フィリピン(10) | ・2015. 8 ネパール、インド(14) | ・2015. 9 ウガンダ、ケニア(7) |
| ・2015. 10 マラウィ(7) | ・2015. 11 マリ、ガーナ(7) | ・2015. 12 フィリピン(12) |
| ・2016. 1 バングラデシュ(7) | ・2016. 2 インド、韓国、フィリピン(7) | ・2016. 3 ネパール、マラウィ(8) |
| ・2016. 4 フィリピン(7) | ・2016. 5 インド(8) | ・2016. 6 マリ、ガーナ、インド(9) |

※支援物資の送付実績 869箱、送料経費総額 5,227,513円(2016.6現在)、13か国19か所に届けています。

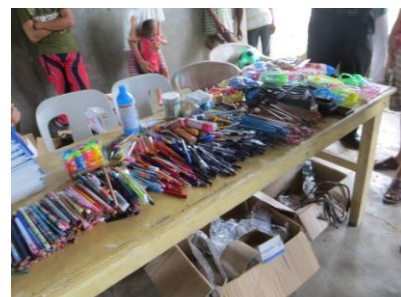
<支援物資のご提供をお願いします> ※私たちのまごころを添え、「ハンドtoハンド」で届けます

子どもたちに送る支援物資として、夏物衣類(子ども~大人用:Tシャツ・ジーンズ・体操服等)、文房具(ノート類、鉛筆・ボールペン・シャープペン、消しゴム等)、楽器(ピアノカ等)、通学用バッグ、バスケット・サッカーボール等がありましたらご提供をお願いします。 ※衣類は洗濯して汚れやほころびのない物をお願いします。

フィリピン・ジェネラルサントスを訪問して支援物資を贈呈

フィリピン南端・ミンダナオ島のジェネラルサントス(GS)を訪問。北緯6度の農業と漁業の貧しい地域。友人エドワードさん(国立ミンダナオ大学准教授・赤Tシャツ)によれば、フィリピンは南下するほど貧しくなるそうです。8年前から、GSの子どもたちに支援物資を計14回送付し、エドワードさんと義兄のアウレリオ氏(サランガニ州教育委員会リーダー・牧師・青Tシャツ)とともに、サポートを行ってきました。

今回、エドワードさんと共に、GS僻地の貧困の子どもたち及びアウレリオ氏の地元小学校を訪問しました。水道、電気、ガス等のない茅葺様の家が点在する山村にて、彼らの生活や学習状況を聞きながら、持参した文房具等を手渡しました。でも、子どもたちや家族の表情は明るく活気があり、エドワードさんは「彼らは大変貧しいけれども、皆がハッピーです」と言って、日本人が失いつつある心の豊かさを教えてくれました。



子どもたちの保護者は、プランテーション農業等に従事し、一生懸命働いて大家族を支えています。日給は約200~250ペソ(600~700円程度)で、生活するのがやっとの状態だそうです。子どもが多くて学費を払うのが困難なため、就学・進学が難しい場合(約3割が学校に行けない)が多く、アジアキッズケアから教育援助をしています。支援している彼らに「将来何になりたい?」と質問すると、「教師、スチュワーデス」等、答えてくれました。子どもたちの夢が実現するようにサポートすることによって、家族や地域をも支えることとなります。小学校を去る時、皆さんが日本語で「ありがとう」を連呼して見送ってください、とても胸が熱くなりました。

また、アウレリオ氏は「私のパートナー」と言って、硬く握手をして抱き合いました。私は、逆にたくさんの心のクリスマス・プレゼントをもらいました。フィリピンの皆様、心からありがとうございました。サラマポ!!



インドの孤児院や貧困の子どもたちのための支援活動

アジアキッズケアでは、毎月アジアやアフリカの貧困の子どもたちのために、支援物資を持ち寄り、現地協力者と連携して「ハンド to ハンド」で届けています。4月は、インドにプレゼントする荷造りを行いました。これまでもチェンナイのホーム（左2枚の写真）に届けていますが、子どもたちは衣類を着て笑顔に包まれています。

当日は、インド人のエルビスさんが、母国紹介で、NO.1 スポーツのクリケットを実演入りで熱く語りました。日本の野球以上に国民に愛され、様々な違いを超える役割を担っており、参加した高校生も楽しく体験しました。



青少年が、同世代の子ども救済のボランティアのために集い、留学生との楽しい会話と共に国際交流も行いました。参加者のまごころは、きっとインドの貧困の子どもたちにも伝わります。現地の皆さんの笑顔は、私たちにも笑顔を与えてくれます。最後にインドの方々から、参加者に感謝のメッセージがあり、全員がとてもホットな気持ちになりました。この時の様子は、あいテレビのニュースで紹介されました。（DVDをお貸しします）



<毎月実施する荷造りボランティアにご参加をお願いします> ※詳細は団体HPを御覧ください。

【実施日時】 毎月第3日曜日の14時～16時 【実施場所】 アジアキッズケア事務所

【メール】 kids@zpost.plala.or.jp 【連絡先】 090-5912-4515 (担当：喜安)

※できれば、支援物資（夏物衣類、文房具、ピアノカ、バッグ、バスケット・サッカーボール等）を持参してください。

貧困の子どもたちの教育・生活サポートのお願い

貧困の子どもたちが学校に行くために、教育・生活支援のサポーターを求めています。フィリピンでは、現地協力者で献身的に子どもたちを支援しているアウレリオ氏やエドワード氏とともに、サポート活動を行います。里親支援(毎月3000円の経済的サポート)への御協力をお願いします。 **※申込みは、団体HPより**

また、インド、マラウィ、ケニアなどの子どもたちに対しても、同様に信頼できる現地協力者を通して、学校教育の推進とともに、将来の就労・自立につながる「ハンドto ハンド」によるサポート活動を行っています。